

学 校 教 育 目 標

高 等 部 教 育 目 標

一人一人のこれまでに獲得してきた力に応じた適切な指導及び必要な支援を行い、個々の社会生活・職業生活に必要な事項（生活習慣、実際の生活に生きる知識と技能、周囲の人と関わる力、進路選択に関する経験と自己理解）を身に付け、卒業後に豊かで主体的に生活しようとする生徒を育てる。

努 力 点 及 び 具 体 的 な 取 組

学習指導の充実	生徒の実態や教育的ニーズを的確に把握し、確かな学びの姿を基にした適切な目標設定による授業実践及び学習評価の充実に努めることで、自立と社会参加に向けて主体的に課題を解決しようとする生徒を育てる。 ○ 社会で生活する姿に基づいた個別の教育支援計画・個別の指導計画を基に、課程内及び授業担当者間で情報共有をしながら効果的な授業実践を進めるとともに、学習の成果や課題を家庭や関係機関と共有し、連携した指導・支援を行う。 ○ 日常の授業の振り返りや支援・指導検討会等により、個々の生徒に必要な指導・支援を再考し、授業改善及び適切な目標設定、評価の充実に図る。 ○ ICT 機器を積極的に活用して分かりやすい授業を目指すとともに、将来の豊かな生活につながるよう、ICT の知識・技能の習得に向けた指導を行う。
生徒指導の充実	生徒一人一人の人権を尊重し、個々の生徒の障害や特性を理解した、寄り添い導く積極的な生徒指導を行うことで、自尊心や自己肯定感を高めるとともに、様々な友達のよさや可能性を認めるなど、自他を大切にできる生徒を育てる。 ○ 全ての生徒が「自分は大事な存在である」と感じることができるよう、常に共感的理解をもって指導に当たる。また、保護者や施設職員、寄宿舎指導員と綿密な情報共有を行い、連携した指導・支援を行う。 ○ 生徒が周囲の人たちと好ましい関係を築いて生活できるように、日頃の振る舞いや社会生活の規律、マナー等について、共通認識をもちながら指導に当たる。 ○ 生徒が抱える悩みや行動上の課題に対して、学年や学部、校内支援委員会、生徒指導委員会が連携し、チームとして組織的・効果的に対応する。
進路指導の充実	職員間や保護者、関係機関と連携を密にしながら、産業現場等における実習や就業体験、職場見学及び校外学習等の一層の充実に図ることで、卒業後の進路実現を目指す生徒を育てる。 ○ 生徒が校内外で身に付けた知識や経験を基に、自分の適性や好きなこと、課題、将来の生活等について考えたり、克服しようと努力したり、「またしたい」と表現したりするなど、主体的な進路実現が図られるように指導・支援を行う。 ○ 産業現場等における実習や、将来の生活及び進路選択に関する説明会、研修会を実施して、保護者に適切かつ丁寧な情報提供をする。 ○ 実習の評価や定期考査の結果分析等を基に、各教科等で将来のよりよい生活につながる組織的・効果的なキャリア教育を行う。
保健・安全指導の充実	安全・安心な教育環境の確保に努めながら、保健教育や健康教育、食育等を充実させていくことで、自己の心身の状態や環境の変化、健康課題を把握し、的確な判断のもとに生涯にわたって健康で安全な生活を創造できる生徒を育てる。 ○ ヒヤリハット報告による情報共有や、日常的な安全点検を行い、事故を未然に防ぐ。 ○ 必要に応じた感染症予防対策を行って教育環境を整えるとともに、様々な状況に応じて生徒自らが判断できるよう、保健教育の充実に努める。 ○ 現在及び卒業後も、健康で安全・安心な生活を送れるように、発達段階や高校生としての生活年齢を考慮した指導・支援（心の健康教育、性に関する指導、安全教育、食に関する指導、防災教育等）を行う。 ○ 卒業後の継続した運動実践等、QOL を高めることができるように、保健体育や自立活動、特別活動等を通して、健康の保持増進につながる学習を推進する。